

日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた中期アクションプラン概要

目標1 多様な人々が交流交歓を通じ、喜びや希望を感じられる場の実現

目標2 豊かな未来を考え、行動を促す場の実現

目標3 世界に誇る文化・スポーツ拠点の形成

(基本方針) 将来にわたり、すべての人が安心して快適に利用できる、多様性と調和に満ちた公園

取組の方向性 (抜粋)
 ◆誰もが安全安心、快適に公園を利用できる環境整備を進めるとともに、様々な立場の人が交流交歓し喜びや希望を感じることができる公園づくり
 ◆日々の生活によりそう普段使いの公園をめざすとともに、非日常を楽しむための場所づくり等、両面から取り組む

(基本方針) レガシーの活用と、万博の森づくりの文化活動を通じ、未来を創造する力を育む公園

取組の方向性 (抜粋)
 ◆約19万点に及ぶレガシーの保存・活用・魅力向上を図り、豊かな未来をめざすための発信を積極的に進める
 ◆公園の豊富なリソースを活かし、未来の主役である子どもたちをはじめ、多世代が参画する体制づくりや環境整備を行う

(基本方針) 文化・スポーツの拠点として、国内外から観光客を含む多くの人々を呼び込み、新しいライフスタイルを体験できる公園

取組の方向性 (抜粋)
 ◆大阪万博や万博の森などをテーマとするアート&サイエンスフェスティバルの実施等により都市魅力の創出を図る
 ◆国内外の人々が訪れたい公園をめざして世界に誇る文化・スポーツ拠点として、新しい魅力創出等、さらなる活性化を図る

1. アクションプランの計画期間

アクションプランは、「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040 (以下、「ビジョン2040」) の実現に向け、具体的な取組や施策等を示すもの。中期アクションプランは2026年度～2030年度の5年間を計画期間とする。

2. 2030年までに公園がめざす姿(ビジョン2040に記載)

世界最先端のアリーナを中核とする文化・スポーツ拠点の形成等を通じ、さらなる観光の促進を図るとともに、2030年を目標年度とするSDGs達成に貢献します。

4. 中期アクションプラン

重点1「多様な人々が安心して利用できる公園づくり」: DXや先端技術を活用し、多様なニーズへの対応策を構築するとともに、公園の日常利用を促進する
 重点2「未来を創造する力を育む場づくり」: 万博記念公園の豊富なリソースを最大限に活用し、未来へ向かう交流交歓の場を多世代にわたって形成する
 重点3「世界に誇る文化・スポーツの拠点づくり」: 1970年大阪万博のレガシー施設の魅力向上等により、世界に誇る文化・スポーツの拠点を形成する

5. 中期アクションプラン 取組

指定管理者や万博記念公園駅前周辺地区活性化事業者、地元市等関係団体と協議・調整しながら下記の取組を進めていく。

| 基本的な取組 | 重点1「多様な人々が安心して利用できる公園づくり」 | 重点2「未来を創造する力を育む場づくり」 | 重点3「世界に誇る文化・スポーツの拠点づくり」 |
|--|--|---|--|
| <p>○安全安心のための施設維持、魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備の項目設定 (2026年度～2030年度) 持続可能な公園運営に向けた手法の検討 <p>○持続可能な財政運営のための各種検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 国庫補助や地方債の活用等の検討 公園用地貸付や未利用地の活用検討 <p>○万博の森づくりの推進、利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性の豊かな森をめざし、モデルエリアで試行を実施 安全対策の推進、森の利用の促進 <p>○公園関係団体等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立民族学博物館等の公園関係団体との連携、イベント等の取組を継続 <p>○万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 2030年度のアリーナ等開業に向けた関係機関や地元等との調整、各種工事 | <p>○園内のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料区域のトイレのユニバーサルデザイン化・美装化を長寿命化計画に基づく改修工事に合わせ実施 <p>○DXや先端技術による変革</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルマップや案内タブレット等のスマート化、障がい者歩行支援アプリの導入を継続実施 駐車場や入園券のキャッシュレス化、パークタクシーの園内運行の継続実施 <p>○公園施設の計画的な整備・保全・改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 民芸館、EXPO'70パビリオン等のレガシー施設等の大規模更新 園内18橋梁の定期点検の結果を長寿命化計画へ位置づけ、計画的に補修工事を実施 長寿命化計画に基づく電力設備、井戸設備、券売機ネットワーク設備の改修 <p>○持続可能な財務運営体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 国庫補助や地方債、未利用地の活用等の検討 公園用地貸付や未利用地の活用検討 | <p>○大阪万博資料のアーカイブ化と公開</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪万博資料のデジタルアーカイブ化、資料閲覧システム(プラットフォーム)の構築・運用 <p>○太陽の塔・日本庭園・EXPO'70パビリオン等レガシー施設の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽の塔の世界遺産登録をめざし、重要文化財指定を広報する取組を推進(ポスター制作等) 日本庭園の正門の一部改修、インフォメーションセンターの整備 EXPO'70パビリオンなどの登録有形文化財への登録に向けた施設整備 アート&サイエンスフェスティバル等の開催 EXPO'70パビリオンの展示リニューアルに向けた施設整備 国立民族学博物館との連携プログラムの実施 教育庁主催の研修会等、平和に関する校外学習の機会提供 <p>○STEAM教育・ESD等の学習プログラム試行展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然観察学習館での体験学習(工作イベント等) 公園資源を活かしたSTEAM教育体験学習等の試行実施 園芸講習会やSDGsに関連した園内の廃棄資源の販売 <p>○万博の森づくりに関する計画の検討や景観整備</p> <ul style="list-style-type: none"> チューリップの花園、ケヤキの丘の改修工事 万博の森づくりアクションプランの策定 | <p>○イベントを通じた魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪・関西万博のレガシー活用(日本庭園休憩所におけるヨルダンパビリオンの砂の展示等) アート&サイエンスフェスティバル等の開催(再掲) <p>○万博記念公園の新たな魅力の価値創出</p> <ul style="list-style-type: none"> EXPO'70パビリオンの展示リニューアルに向けた施設整備(再掲) <p>○スポーツイベント誘致等によるスポーツ振興</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツイベントやスポーツ施設を使用したイベント等の誘致及び開催(スパルタンレース、トライアスロン等) 地域住民を対象としたスポーツスクールや障がい者スポーツ大会の開催 <p>○万博記念公園駅前周辺地区の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> アリーナ等の建設及び交通環境整備に関する工事着手、事業の推進 |

3. 数値目標

中期アクションプランにおける数値目標として、計画期間である2030年度の来園者数について300万人を目標とする。達成に向け、進捗状況を管理し確認するため、KPI(重要業績成果指標)として初来園者数とリピーター数を設定する。

